

## 入試情報

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
<b>学力検査:</b> 3/8(火) <b>面接・小論文・実技検査:</b> 3/7(月)~9(水)	志願登録 2/12(金)~17(水) 出願期間 2/22(月)~25(木)	3/16(水)	中学1年から3年までの成績が対象となる。 9教科×5段階評価×3年間 =135点満点

教育のプロ  
トライさん



## 傾向

大きな変更点として、本年度より5区域にわかれていた通学区域が撤廃され、県内全域が通学区域となる。英語についてはリスニングが含まれる。対して国語の聞き取り検査は平成26年度入試より廃止された。平成25年度入試より実施されている学校指定教科検査(国語・数学・英語、各20点)については、平成27年度入試では22校30学科で実施され、基礎学力を問われるとともに、課題解決力が問われた。年々、入学定員については削減傾向にあり、すでに発表された平成28年度の定員も全日制全体で175名減となっている。ただし、近年倍率の高かった一部の普通科では、わずかであるが定員増も見られる。

## 科目別対策

### 英 語

リスニング1題、会話文読解2題、長文読解1題、英作文問題1題という構成。全体的に記述式の問題が多い。また、読解問題では内容を正確に読み取ることが要求されるため、単語・イディオムの十分な知識が必要。英作文の対策も必ずしておこう。英文を別の英文で言い換える問題も出されるので、対策が必要である。最後の大問は、25年度以降和文英訳問題で変わらず出題されている。

### 数 学

出題数は例年10題前後と多いのが特徴で、解きやすい問題を見極めて解答していく判断力が必要。解答スピードが求められるが、比較的基本的な問題が多いので、基礎がしっかり身につけていけば、十分得点可能。図形の証明問題および作図問題は頻出。また、関数、図形、確率など複数の単元を横断する融合問題が出題されるので、過去問等でしっかり慣れておくこと。

### 国 語

小説・論説文・古文・漢文・作文の大問5問構成。漢字の読み書きと文法事項は必ず出題される。小説は登場人物の心情読み取り、論説文は筆者の主張をまとめたり、書き出す問題が多い。古文漢文は仮名遣いや返り点などの基本知識を押さえておこう。作文は会話文を読み、それに関するテーマで実体験をもとに意見を述べる問題が多い。意見を短くまとめ、書く練習を重ねること。

### 理 科

大問10問前後で構成。各分野全ての問題がバランスよく出題される。実験や観察が重視するため、実験結果からの考察を書く練習や、実験の手順・注意事項についてまとめておこう。図表・グラフの読み取りやデータの読み取りにも慣れておくこと。記述問題も増えてきているので、暗記だけでなく、内容を理解した上で演習しよう。環境・資源関連も出題されるので、ニュースにも目を通しておこう。

### 社 会

大問6問構成。語句記入と選択問題が大半だが、27年度は基本事項を問う記述問題も7問出題。地理・歴史ともに地図やグラフ、写真・絵など資料が多用されており、地図帳や資料集を活用した対策が必須。テーマでの出題も多いため、重要事項の関係性について把握した横断的な学習が必要。公民は、政治だけでなく現代社会の諸問題も頻出事項なので、時事問題の対策もしておくこと。